

平成25年3月25日

陸前高田市議会議長 伊藤 明彦 様

会派名 日本共産党陸前高田市議団

代表者 団長 藤倉 泰治

政務調査活動概要報告書

会政務調査に関する取扱要綱第6条第2項の規定により、平成24年度政務調査活動報告をいたします。

記

1 研修調査活動(1)

(1)集会名 東日本大震災津波復興岩手県民会議第2回総会記念県民フォーラム「被災者が主人公の復興へ —3・11から1年5ヶ月—」

(2)主催者 東日本大震災津波復興岩手県民会議

(3)日 時 平成24年8月18日(土)

(4)場 所 盛岡市 勤労福祉会館

(5)参加者 団長 藤倉泰治、副団長 大坪涼子、幹事長 伊勢純 以上3名

(6)行 程 陸前高田市 9:00 発→盛岡市勤労福祉会館→18:00 陸前高田市着

(7)集会日程

13:00 開会、主催者あいさつ

13:30 パネル討論

パネリスト 藤倉泰治陸前高田市議、木村明宮古民商事務局長、  
小林昭栄田老漁協組合長

コーディネーター 斉藤信県議

15:30 質疑、討論

16:30 閉会

(8)研修項目

①震災後1年5ヶ月の被災地の現状や各地の要求について研修

②被災者の生活再建、住宅再建のための各地の支援策の交流

③漁業者の再建の各地の取り組みの現状や、二重ローン問題、被災ローンの減免のための取り組み



## 2 研修調査活動(2)

- (1)集会名 復旧・復興全国交流集会 in 宮城
- (2)主催者 全国災害対策連絡会
- (3)日 時 平成 24 年 10 月 7 日(土)～8 日(日)
- (4)場 所 宮城県蔵王町ふるさと文化会館
- (5)参加者 団長 藤倉泰治、副団長 大坪涼子、幹事長 伊勢純 以上 3 名
- (6)行 程 10 月 7 日(土)

陸前高田市 8:00 発→一関 IC→蔵王 IC→遠刈田温泉「蔵王町ふるさと文化会館」12:30 着 復旧・復興全国交流集会 in みやぎ参加  
(記念講演、被災地報告、分科会)→旅館宿泊

10 月 8 日(日)

復旧・復興全国交流集会 in みやぎ参加(分科会、全体集会)  
「遠刈田ホテルさんさ亭」(8:30～13:30)→村田 IC→石巻市北上町  
十三浜「復興住宅」見学→陸前高田市 17:30 着

### (7)集会日程

10 月 7 日(土)

13:00 開会

13:30 記念講演『被災地復興をめぐる二つの道』

—「惨事便乗型」復興から「人間の復興へ」—

講師 岡田知弘氏(京都大学大学院教授)

15:10 被災地の現状と課題(特別報告) 岩手、宮城、福島各県

16:45 分科会

生活再建 伊勢純議員参加

集団移転 大坪涼子議員参加

中小企業支援 藤倉泰治議員参加

10 月 8 日(日)

8:30 分科会再開

11:40 全体集会、分科会報告

12:55 まとめと閉会

13:00 終了

(8) 研修項目

- ①東北の広範な被災地で始まる本格的な復興闘争における、財界・大企業の立場に立った復興か、住民本位の復興かが問われる局面のなか、被災地で奮闘する活動を研修した。
- ②岩手、宮城、岩手3県の被害の実態、復旧・復興のとりくみの現状について

3 研修調査活動(3)

(1) 集会名 全県地方議員研修会

(2) 主催者 日本共産党岩手県委員会・県議団

(3) 日 時 平成 24 年 11 月 21 日(水)

(4) 場 所 盛岡市 上田公民館

(5) 参加者 団長 藤倉泰治、副団長 大坪涼子、幹事長 伊勢純 以上 3 名

(6) 行 程 陸前高田市 7:30 発→盛岡市上田公民館 10:00 着→全権地方議員  
研修会参加→上田公民館 16:00 発→陸前高田市 10:30 着

(7) 集会日程 10:30 開会、主催者あいさつ

10:40 報告「被災地の現状と被災者の生活支援と復興の取  
組み状況」日本共産党県議団団長 齊藤 信

11:30 被災地からの活動報告(午前)

宮古、山田、大槌、釜石、大船渡、陸前高田の市議、町  
議の報告

12:10 昼食

13:00 被災地からの活動報告(午後)

15:00 政府に対する要望事項について協議

16:00 閉会

(8) 研修項目 ①県内の被災自治体における復興の取組状況の情報交換

②被災者の生活再建の支援策の各自治体の状況の情報交換

③漁業者の再建の各地の取組の現状を意見交換

④JR大船渡線、山田線の復旧、県立高田、大槌、山田病院の再  
建をめぐる情勢の把握

⑤被災地の現状をふまえた国、県への要望事項の確認

4 研修調査活動(4)

(1)視察先 長野県飯山市、栄村

(2)日 時 平成25年2月18日(月)～19日(火)

(3)参加者 団長 藤倉泰治、副団長 大坪涼子、幹事長 伊勢純 3名

(4)行 程 2月18日(月)

陸前高田市 6:30 発→一関駅 8:27 発→大宮 10:18 着→飯山駅  
12:30 着 飯山市視察、栄村視察→民宿宿泊

2月19日(火)

飯山駅 8:47 発→長野駅→一関駅 20:50 着→陸前高田市 18:00

(5)研修項目

飯山市では、3月11日の東日本大震災の翌日に大地震が発生した。隣の栄村で大規模な家屋倒壊被害が発生し、その支援、救援活動や、市議会及び議員活動について、飯山市副議長および議員2名により説明を受けました。

栄村では、栄村島田村長にお見舞いをかねてあいさつし、約30分間以下の報告を受けました。

①地震の概要 平成23年3月12日(土)午前3時59分

マグニチュード6.7、震度6強の大地震が発生

②被害状況 人的被害 死亡3名(関連死)、軽傷10名

建物被害 住家全壊33棟、半壊169棟、一部損壊492棟

非住家全壊160棟、半壊140棟、一部損壊747棟

③避難状況 3月12日午前11時、村全域に避難指示、村内7箇所に避難所を設営。ピーク時には1,787人が避難。

現在の避難者 130人(59世帯)、村外避難者 26人

応急仮設住宅入居者 104人(48世帯)

④復興状況 被災農地62.77haのうち9割が今年作付けまで復旧。

被災者向け村営住宅の整備は現在31戸(木造・長屋方式)の村営住宅を建築中。

また、前村長の高橋彦吉氏から、5期20年間の村長としての地域づくりの話をお聞きしました。「小さくても輝く自治体」として、下駄履きヘルパー約200人が近所の高齢者を訪問サポート、除雪対策として臨時職員を冬期間雇用、浄化槽設置や土地改良などの簡易な工事は、地元のオペレーターに安く発注、都市との活発的な交流、高齢者の昔ながらの技を生かした特産品づくりなどの取組を行っているとのことでした。

その後、復興住宅(木造の2階建て長屋、向かい合わせ方式の村営住宅)の見学をしました。

## 5 広聴広報活動

(1) 日本共産党議員団ニュースを12,000部発行し、市内各戸、市内仮設住宅に各戸配布しました。

(2) 議員団ニュースを使いながら、仮設住宅団地の集会所や屋外で議会報告会を開催しました。その場で、住宅再建への支援の施策や、復興状況について報告しました。特に、住宅再建の支援策、医療費の負担減免、在宅介護について、仮設団地内の要望(風呂の追い炊き、風除室、ガス代負担など)などの意見が出ました。

それらの要望事項は、議員団として、要望書にまとめ、市長に提出し、懇談しながら、被災者、住民の要望や意見を伝えました。